を援助して南方にも独立国を創出するというものであったが、日本の政府方針は立憲君主制による安定化の方向でまとまって行き、宇都宮の構想は頓挫することになる。

こうして、内容は第二巻に入る。中国の情勢が一段落した結果、宇都宮は満蒙やベトナム関連の政策に関与しつつも、国内政治に再びコミットするようになる。寺内陸相の後任であった石本新六陸相が病死し、上原の陸相就任が実現したためである。いわゆる二個師団増設問題から大正政変につながる流れが、宇都宮の日記を通してより明らかになっていく。従来の研究ではこの時期の宇都宮は上原派＝薩派の一員と位置付けられるが、実情はもう少し複雑なようである。宇都宮はたしかに上原派・薩派の双方と深いつながりを持っていたが、その中でも独自の道を探っていたように見える。事実宇都宮は上原辞職の直前に、妥協による内閣の維持と増師の実現を進言しているのである。政変後、宇都宮の日記から政局に関する記述は途絶え、一月半ばには二ヶ月に及ぶ朝鮮・中国旅行に旅立つ。現地視察の傍ら革命派と接触するなど、今後の対中政策を見据えつつも独自のアジア政策を宇都宮が持ち続けていることがわかる。帰国後には第二革命が勃発するが、日本政府はこれに対し厳正中立の態度を取ったため、宇都宮も冷静な対応をとり続けている。そのほかには山本内閣期の陸軍大臣官制改正問題への対応、その責任を取って辞職した木越安綱陸相の後任に楠瀬幸彦を宇都宮が推したことなどが記されている。一九一四年五月、宇都宮は陸軍中将に昇任し旭川第七師団長となり、一九一六年八月には引き続き大阪第四師団長となる。この間東京から離れていたため、対外政策や中央政局に直接関与することができなくなっていた宇都宮だったが、交友関係は維持されており、書翰や意見書等が関係資料中に多く残されている。何らかの理由で一九一七年の日記は資料中から欠落しているため、第二巻の範囲はここまでである。第三巻では宇都宮が朝鮮軍司令官となり、そして三・一事件に遭遇することとなる。

以上、日記の内容とそこに見られる新たな知見を中心に紹介したが、『宇都宮太郎日記』が持つ豊かな内容が多少なりとも伝わっていれば幸いである。この日記を含む『宇都宮太郎関係資料』は、宇都宮太郎という人物が陸軍に占めた地位の重要性、また資料自体の規模から見ても近年まれに見る重要資料といえるだろう。なお、同研究会による科学研究費の報告書『宇都宮太郎関係資料からみた東アジアと近代日本』が既に刊行されており、関係資料全体の詳細な目録が収録されている。ぜひ日記と合わせて活用されたい。

（中野弘喜）

宮澤知之著

『中国銅銭の世界――銭貨から経済史へ――』

（佛教大学鷹陵文化叢書　16）

思文閣出版　二〇〇七・三刊
A5　三一八頁　二四〇〇円

本書は、中国の銅銭（青銅貨幣）の歴史について論じたものである。まず中国最古の貨幣と目されることの多い股代宝貝に関する研究状況をふまえた上で、春秋戦国時代～明清時代の銅銭の通史に包括的な検討を加えている。本書の筆者は宋代貨幣史を専門とし、すでに『宋代中国の国家と経済』（創文社、一九九八年）などを執筆しているが、本書にもその成果が存分に生かされている。もっとも本書では、その要点が平易かつ端的な日本語で説明されているのみならず、随所に創見も含まれている。その意味で、本書はいわば概説書と研究書の中間的存在であるといえる。

本書を紹介する上で、何よりも注目されるのは、その方法論的斬新さである。

第一は、文献学・考古学・古銭学の成果を生かした多角的な通史的研究が展開されている点である。これまでにも中国貨幣史を通史的に概観したものとして、加藤繁『中国貨幣史研究』（東洋文庫、一九九五年。大正一四年～昭和一六年の講義録に基づく）などが出版されている。しかし、それらはいまや古典的研究というべきもので、引用史料も不十分であった。その後、中国では貨幣経済通史がしばしば刊行されたものの、日本では山田勝芳『貨幣の中国古代史』（朝日新聞社、二〇〇〇年）など、時代をやや絞り込んだ通史的研究が出版されるにとどまり、必ずしもそのような試みが十全になされたわけではなかった。これに対して本書では、最新の出土文字資料や出土青銅貨幣、あるいは従来の古銭学・文献学にも配慮した通史が全面的に展開されている。明清時代以降の論述が比較的少なく、その内容も銅銭に限定されているとはいえ、これは画期的な試みである。

第二は、カール・ポランニーの経済人類学的な方法論が導入されている点である。すなわち著者は、「貨幣」を、「ものを買ったり（交換手段）、価値を表示したり（価値尺度手段）、税金を払ったり（支払手段）、貯蓄したり（価値保存手段）といった諸機能を有するもの」と定義し、「注意する必要があるのは、これら貨幣機能がすべてそろって始めて貨幣というのではなく、貨幣の諸機能を部分的にでも備えていれば貨幣と認めることである」とする。その上で、交換手段・価値尺度手段・支払手段・価値保存手段としての機能を必ずしも完備していない歴代の銅銭を、改めて「貨幣」として捉えなおし、そこから経済史を読み解こうとしている。これは歴代の銅銭を現代貨幣とほぼ同一のもの、あるいは現代貨幣の欠陥品とみなし、そこから明清時代以前の貨幣経済史を不完全な市場経済からより洗練された市場経済への変化とのみ捉える旧来の諸研究とは一線を画している。ここに、著者が「銭貨から経済史へ」という副題を掲げた理由があろう。

（柿沼陽平）

マカートニ夫人著／金子民雄訳

『カシュガール滞在記』

（別世界との出会い　③）

連合出版　二〇〇七・一〇刊
B6　二八五頁　二五〇〇円

一九世紀末から二〇世紀前半の中央アジアは、英露両帝国の熾烈な覇権争い、いわゆる「グレート・ゲーム」の舞台であった。本書は、その最前線にあった夫のジョージ・マカートニに付き添い、一七年もの長きにわたって中国領トルキスタン（新疆）のカシュガルに滞在した夫人の回想録（原書は一九三一年刊）の翻訳である。

一八九八年、ロンドンで慌ただしく結婚

ISSN 0018-2478

史學雜誌

論文

古代末期における公的教師の社会的役割
——リバニオス書簡集の分析から—— ……田中　創……1

研究ノート

エラスムスと人格の自由
——『キリスト者の君主の教育』を中心として—— ……野々瀬浩司……33

京城帝国大学法文学部の再検討
——法科系学科の組織・人事・学生動向を中心に—— ……通堂あゆみ……58

書評

河内祥輔著『日本中世の朝廷・幕府体制』……上杉　和彦……85

豊川浩一著『ロシア帝国民族統合史の研究
——植民政策とバシキール人——』……西山　克典……94

小関　隆著『プリムローズ・リーグの時代
——世紀転換期イギリスの保守主義——』……見市　雅俊…102

新刊紹介 ……108

文献目録：東洋史Ⅰ ……119

第117編　第2号

史學會
東京大學文學部内
稲田大学
特 2007.14 入
戸山図書館

昭和24年12月15日第三種郵便物認可　昭和24年7月国鉄特別扱承認雑誌第1274号　平成20年1月20日発行(毎月1回20日発行)

SHIGAKU-ZASSHI

Vol. CXVII　Jan. 2008　No. 1

Article

Russian refugees and French politics : The creation of an international framework, 1918-1929 — *TATE Hazuki*

Column

Thinking around regional history — *SHIBA Nobuhiro*

Research Notes

The Emperor, Abdicated Emperor and Shogunate within Japan's late medieval status system : *Jinchu* and *rakuchu* as measures of status — *MOMOSAKI Yuichiro*

Reviews

YIN Yanjun, *Nicchu-kowa no kenkyu* (*The postwar Sino-Japanese peace process : The starting point for Sino-Japanese relations today*), Tokyo, 2007. — *HATTORI Ryuji*

MATSUSHITA Ken'ichi, *Hokugi kozoku taiseiron* (*Takeover of the Northern Wei dynasty by the Hu people*), Sapporo, 2007. — *OKADA Yasuichiro*

FUKASAWA Katsumi & TAKAYAMA Hiroshi (eds.), *Shinko to Tasha* (*Believers and non-believers : Tolerance and intolerance in the history of European religion*), Tokyo, 2006. — *SASHI Akihiro*

KAWAGOE Osamu, *Shakai-kokka no seisei* (*The creation of a social state : Nazism and 20th century society*), Tokyo, 2004. — *NAKANO Tomoyo*

Record of the 105th Annual Meeting

Brief Notices

List of Recent Publications

(*Summaries in English included in this issue)

SHIGAKUKAI
(THE HISTORICAL SOCIETY OF JAPAN)
FACULTY OF LETTERS
THE UNIVERSITY OF TOKYO
BUNKYO-KU
TOKYO

雑誌コード　04217-1

定価　1040円　本体990円